

2024年5月1日

各 位

会社名 株式会社 サン ウェルズ  
代表者名 代表取締役社長 苗代亮達  
(コード番号: 9229 東証グロース市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 上野英一  
(TEL. 076-272-8982)

## 国際学術誌「Frontiers in Neurology」への論文掲載のお知らせ

この度、当社が順天堂大学と共同で行った「パーキンソン病患者におけるウェアラブルデバイスを用いた24時間モニタリングによる概念実証」に関する論文が、国際学術誌「Frontiers in Neurology」に掲載されましたので、以下のとおりお知らせします。

### <概要>

当社と順天堂大学医学部神経学講座の共同で実施した研究が国際学術誌「Frontier in Neurology」にて公表されました。本研究は、PDハウスに居住する入居者を対象にウェアラブルデバイスを用いて脈拍数と活動指数 (METs) を24時間体制でモニタリングすることで、脈拍数と活動指数 (METs) を組み合わせたアウトカムがパーキンソン病の症状の変動に関する指標となり得ることが示唆されました。

### <研究の背景>

パーキンソン病の進行期には、主症状となるウェアリングオフやジスキネジアなどの日内変動を生じる合併症が問題となります。これらの症状を捉えることは、パーキンソン病の患者に適切なケアを提供するために重要です。本研究では、ウェアラブルデバイスを用いて評価した脈拍数や活動指数の情報を基に、パーキンソン病の症状の変化をモニターできるかを調べるパイロット研究をおこないました。

### <研究の成果>

本研究の主な研究成果として、脈拍数と活動指数がパーキンソン病の症状 (ウェアリングオフやジスキネジア) の変動に関する有用な指標として機能する可能性が示唆されました。

### <今後の展開>

本研究の結果から、ウェアラブルデバイスから得られたデータを利用して、患者の日常生活における症状の変動をリアルタイムで把握し、その情報を基に個々の患者に最適な介護が行えるようになることが期待されます。今後はこの研究成果を基に、ウェアラブルデバイスを用いた日内変動の把握を行うことで、パーキンソン病をお持ちの方への質の高い介護を実現するためにPDハウスのサービスに活かす研究を行う予定です。

論文タイトル: A proof of concept: digital diary using 24-hour monitoring using wearable device for patients with Parkinson's disease in nursing homes

著者: Kamo, H., Oyama, G., Yamasaki, Y., Nagayama, T., Nawashiro, R., Hattori, N.

掲載誌: Frontiers in Neurology

掲載日: 2024年4月10日

論文 URL: <https://doi.org/10.3389/fneur.2024.1356042>

以上